

名 称	令和6年度 松山圏域活性化戦略会議（書面開催）
開催日時	令和7年3月17日(月)送付
開催場所	－（書面開催）
出席者	－（書面開催）
議事内容	1. 第2期まつやま圏域未来共創ビジョンの連携取組実績について ● 令和5年度の連携取組の実績について、事務局から報告した。 ⇒委員からの意見あり。 ※意見内容とその対応については、別紙を参照。 2. 第3期まつやま圏域未来共創ビジョン（R8～）の策定について ● 課題や検討すべき事項など、自由に意見を求めた。 ⇒委員からの意見あり。 ※意見内容とその対応については、別紙を参照。

(別紙)

令和6年度 松山圏域活性化戦略会議 ご意見一覧

令和6年度 松山圏域活性化戦略会議（書面開催）の議題について、会員の皆様からいただいたご意見は、以下のとおりです。

議題1：第2期まつやま圏域未来共創ビジョンの連携取組の連携取組実績について

ご意見①
・「 <u>基本方針22 広域的公共交通網の構築と圏域拠点の整備</u> 」 松山市内道路の慢性的な渋滞緩和のため、松山外環状道路の早期実現に向けた取り組みや、松山空港の利用促進・利便性向上のため、周辺駐車場の確保に向けた取り組みをお願いする。
ご意見②
・「 <u>取組222：松山空港の利用促進</u> 」 SNSを活用した若年者向けの情報発信やパスポート取得補助の学生周知などについては協力できるので情報共有をお願いしたい。
ご意見③
・「 <u>取組311：松山空港の利用促進</u> 」 「今後の方針」の内容が具体性に乏しいように感じられる。
ご意見④
・「 <u>取組131：「道後温泉」を軸とした観光振興</u> 」 道後でのPRの機会を、圏域内の観光協会に対してもいただきたい。圏域内の温泉施設連携の研究は進展が無いようなので、ぜひこちらも検討・事業推進していただきたい。
ご意見⑤
・「 <u>取組132：圏域全体の観光資源を対象としたプロモーションやファムツアーの実施</u> 」 令和5年度から、東温市、伊予市、松前町、砥部町、久万高原町の2市3町で協力して、大分市、広島市等で物販事業を行って来た。松山圏域全体での取り組みができるような仕組み作りが必要だと考える。

これらのご意見は、今後、松山圏域で連携して事業に取り組む際の参考とさせていただきます。

議題２：第３期まつやま圏域未来共創ビジョン（Ｒ８～）の策定について

ご意見①
・若者のふるさと体験を通じた誇りや 愛着の醸成を（圏域出身の）大学生まで広げること を検討していただきたい。他県出身者がマツワカに参加することで、松山市に就職するなどの 事例もあることから、第３期ビジョンでは、人口減少対策の一環として、若者が圏域の魅力 （仕事や環境の良さ）を知る機会を増やすことを検討していただきたい。
ご意見②
・ビジョン（ありたい姿）なので、策定にあたっては２０～３０代位の若い方の意見や提案も 積極的に取り入れることが望ましい。また、避けがたい人口減少の問題などを前提に策定し たビジョンからのバックカスティングで考えられる課題の明確化と具体的対応の策定を お願いしたい。
ご意見③
・第３期ビジョンについては、これまでの松山圏域での取組実績を踏まえたより効果的な施策 の打ち出しに加え、令和７年度から開始される広島圏域との連携も含めた更なる取組みが 展開されることを願っている。
ご意見④
・松山圏域の救急搬送件数は増加しており、特に高齢者の軽症による救急搬送件数の増加が問 題になっている。２０２２年軽症患者の割合は、松山市消防局６３．１％（松山圏域全体６ ０．８％）に対し全国平均は４７．２％となっており、松山市消防局は全国平均よりも１５． ９ポイント高くなっている。今後、超高齢化社会がますます進展するため、第３期ビジョン には小児だけでなく、高齢者の救急医療の適正利用に関する周知が必要と思われる。 ・急変時の際に起こり得る関係者間の意見の対立を防ぐため、ＡＣＰ（アドバンス・ケア・プ ランニング。人生の最終段階における医療・ケアの在り方等について、本人、家族、医療・ 介護従事者等が事前に話し合うプロセス）などの取組を啓発していくことも重要である。
ご意見⑤
・第２期のビジョンの基本方針③ 山・街・海をつなぐ広域観光の推進において、道後温泉に 関しては本館全面営業再開もあって、コロナ以前以上の回復を見せている状況。引き続き圏 域内周遊及び、それに伴う道後温泉の延泊へつながるようなプロモーションの更なる強化 を推進したいところである。引き続きの言及をお願いしたい。

これらのご意見は、令和７年度に策定する第３期ビジョンの参考にさせていただきます。